

地球温暖化防止対策 - 指南書 [ごみ]

さいたま市のゴミ事情 (平成20年度...ゴミ処理費170億円)

* ゴミ処理経費

1人当たり 14,010円

市民1所帯当たり 33,259円

ゴミ1t当たり 37,457

*平成22年度(1人・1日あたりゴミ排出量) 削減目標値 840Gg 847g(20年度実績)

~ 地球環境へはゴミ減量が第一 ~

..... チェック項目すべてが「YES」になる暮らしを心がけよう!

NO	ゴミ減量のポイント	YES	NO
1	買い物に行くときは、買い物袋(カゴ)を持って出かける。		
2	特にゴミの分別には気を配っている。		
3	ビン、缶のリサイクルに協力している。		
4	生ゴミや落ち葉は堆肥にして、家庭の自家栽培に活用している。		
5	プラスチックトレイのようなものは、なるべく買わないようにしている。		
6	発砲スチロールのトレイ回収に協力している。		
7	バザーや不要品交換会などを開いて、リサイクルに心がけている。		
8	ゴミがどのように処理されて、何処に行くかを知っている。		

ゴミの中には、食品などの容器や包装に使われたプラスチックや紙、缶などが大変多く、私たちは商品と一緒に容器や包装も買っている状況です。どんな容器や包装の商品を選ぶかで、ゴミの量はずいぶん変わります。どんな買い物の仕方が良いか考えてみましょう。

() ゴミを減らす買い物の仕方。買い物の袋を持ってでかけよう。

*引き出しなどにすぐたまってしまうスーパーのレジ袋。最近では、買い物袋を持参しながら買い物に出かける賢い主婦を多く見かける。ゴミは減るし、お店もレジ袋代(1枚2~5円)も助かり、その分商品価格に上乗せをしない店もあるという。スーパーなどに行く場合は、余分な物を購入しないために、買い物に行く前に冷蔵庫内を確認し、必要な物をメモして出かけましょう。

*毎日の食事には、人数に合わせた量を作り、食べ残しのない(ゴミの出ない)ようにしましょう。

*クリーニングのハンガーはクリーニング屋さんに戻しましょう。

() ビンのリサイクルについて考えよう。

*ペットボトルやワンウェイビンよりもリターナブル・ビンを選ぼう。洗浄するだけで約30回の再利用ができるため、資源とエネルギーを節約する地球にやさしい容器の代表選手でもあります。一升ビンを新しく作った場合とリターナブル・ビン洗浄した場合の方が電力で約200Wh、重油で0.1節約になり、エネルギーを約15%節約できます。リターナル・ビンはRの印が瓶に刻まれており、日本酒・醤油の一升ビンや、ビール・牛乳瓶がリターナル・ビンです。

ワンウェイビンは一回限りの利用を目的にしたビンで、透明、茶、緑、青、黒に色別され、カレット工場に送られ、ビンを砕いて異物を取り除き、ガラスビンの原料として製ビン工場に送られます。

工場では珪砂、ソーダ灰、カレットを混合して、再度ビンを作ります。ワンウェイビンは、ドリンク剤や調味料瓶として利用されています。

使用後のペットボトルも再度工場に回収され、プラスチック製品等に生まれ変わって、再利用されますが、多くのエネルギーが使われています。そのようなことから、リターナブル・ビンが地球に一番やさしい容器であります。

() 今後ビンより缶の増が見込まれる状況にあり、リサイクルに協力を。

*アルミ缶の資源化率は95%を超えており、エネルギーを97%節約します。350mlのアルミのビール缶1個分で、電気422Wh、テレビ6時間分に相当しています。大気汚染物質では95%、水質汚染物質では97%の削減となります。

(裏面に続く)